

大阪大学の研究所で行なっている研究をご紹介します！

めばえ適塾

参加無料

お申し込みはこちら



リサーチクラウドカフェ

2025.1.11(土)

大阪大学微生物病研究所

コウタニ アイ

幸谷 愛 先生

私が中高生だった頃は、白血病リンパ腫は不治の病でしたが、30年あまりの間に治るようになりました。ただ、それでも治らない白血病リンパ腫もあります。Epstein Bar ウィルス(EBV)が引き起こす白血病リンパ腫もその一つです。治りにくい一つの原因としては、アジアに多いため欧米での研究開発は全く進んでいない現状があります。そこで、EBVが引き起こす白血病、リンパ腫を研究しています。最新の研究成果は臨床試験に結実し、実際に患者さんに投与されています。

研究においても「病気を研究する」ことの重要性、優位性などをお伝えできれば幸いです。



1996年 京都大学医学部医学科卒業。京都大学医学部附属病院、学術振興会特別研究員（京都大学）、出産育児復帰支援特別研究員（Whitehead Institute for Biomedical Research）、東京大学医科学研究所先端医療研究センター助教を経て2011年より 東海大学創造科学研究機構医学部門 テニユアトラック准教授(PI)、2016年同大学医学部教授、2024年より現職。

2025.1.13(月・祝)

大阪大学レーザー科学研究所

コダマ リョウスケ

児玉 了祐 先生

人類の発展はエネルギー源の開拓と密接に関わっています。火の利用に始まり、18世紀末の石炭による第一次産業革命、石油、原子力、再生可能エネルギーと、エネルギーの多様化が文明を支えてきました。現在、AI技術や自動化が進む超スマート社会の到来により、膨大なエネルギー需要が予想され、従来のエネルギー源では対応が困難となりつつあります。この課題に対し、注目されているのがフュージョンエネルギー、特にレーザー核融合の研究です。パワーレーザー技術はエネルギー供給の革新だけでなく、新たな産業の創出も期待されています。

本講演では、核融合を中心にパワーレーザーの可能性を紹介いたします。



1990年、大阪大学大学院工学研究科にて学位取得。英国オックスフォード大学クラレンドン研究所研究員、大阪大学レーザー核融合研究センター助手、助教授を経て同大学工学研究科教、大学レーザー科学研究所長兼任、現在に至る。これまで、パワーレーザー開発とともにレーザー核融合などエネルギー密度の高い極限状態の科学に関する研究に従事。米国、英国など国内外の学会・財団などから多数受賞するとともに紫綬褒章を受章。

時間/ 14:00～15:30 (受付開始13:30)

場所/グランフロント大阪北館タワーB 10階
ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーB
Room B05+06 (オンライン参加もできます)

場所の地図は
こちら

